



暑い暑い暑い夏

副校長 西川 雅行

8月23日は、『処暑』。暦の上で、暑さが峠を越えて後退し始めるころといわれています。8月25日現在、17日から連続9日間、神奈川県に「熱中症警戒アラート」が発令され続けています。熱中症との相関が高い「暑さ指数(WBGT)」の値が33以上と予測された場合、発令されます。

昨年度の発令状況は、1回目が7月30日にあり、最終は8月27日でした。すべて夏休みの間の発令で、12日ありました。今年度は夏休み前、7月11・12・17・18日に発令され、8月25日現在、昨年度の2倍強の25日となっています。気象庁3か月予報(9~11月)によると、9・10月は全国的に平年より高くなり、東日本や西日本を中心に、9月は猛烈な暑さとなる日が例年よりも多くなるおそれがあり、厳しい残暑が続くほか、10月にも真夏日となる可能性があるということです。

引き続き「横浜市立学校熱中症対策ガイドライン(令和5年5月最終改定)」に基づいて、運動場や体育館に設置している計測器を使い、暑さ指数(WBGT)を計測し、熱中症の危険性が高い場合には運動場や体育館での遊びや運動を中止します。外で活動する時は帽子をかぶるように指導します。運動中はこまめに水分補給をするように声をかけます。体育の授業や屋外での活動時、気温や湿度が高い場合には、マスクをはずすようにします。グリーンフィールドに設置しているミストシャワーを活用します。児童の体調の変化に十分注意しながら、適切に対応してまいります。

横浜市の疾病等発生状況(定点情報)の発表では、都筑区は新型コロナウイルスやインフルエンザの数値が市の平均を上回っています。体調が良くないと熱中症や感染症等になりやすくなります。児童の体調の変化には十分注意いたしますが、ご家庭におかれましても、毎日の健康観察と体調管理、特に「早寝早起き朝ごはん」の励行についてご協力をお願いいたします。体調不良がある場合は登校を控え、自宅で休養いただきますようお願いいたします。

登下校時のことを考えると、①熱のこもらない服装にする、②直射日光をよける(日陰を歩く、帽子をかぶる、日傘をさす)、③飲み物を多めに持たせる、等、も大切です。登下校の際、冷感効果のあるタオルを身につけさせていただいてもかまいません。ご家庭でもお子さんと一緒に登下校中に暑さのげり場所を確認する、冷感グッズの取扱い方について十分指導する等、できそうなことに取り組んでいただければと思います。

夏休み中に二つの工事がありました。

「体育館の水銀灯をLEDに交換する工事」では、LEDに変わることによって、明るさを調整できたり、ステージ側2列だけ消灯するなど部分的に使えたりするようになりました。

「屋上に太陽光パネルを設置する工事」では、太陽光発電でできた電力を校内で利用したり蓄電池に充電したりします。それらの様子が、職員室脇、スロープに設置したディスプレイに表示されるようになります。9月末までに完成します。